

## 令和 2 年度 講義計画書

担当講師:越川 善子	実務経験 (有)無	治療院勤務		
科目名・対象学科	基礎実技Ⅱ			鍼灸師科
配当年次・単位数(単位時間)・実施学期・講義形式	1年	1単位(40)	前期	実技
一般目標(GIO)				
灸の基礎知識を学ぶとともに、安全面と衛生面の知識を深め、施灸部位の形状、艾炷の大きさ形、ひねりの硬軟、施灸速度を組み合わせて、段階的に練習する。 艾炷を作り出す基本動作や線香による点火を習得する。				
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード				
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等				学習のキーワード
<p>灸の基礎知識</p> <p>1)灸の原材料や製法などを理解する。</p> <p>2)線香の原材料や種類を理解する。</p> <p>3)患者に与えるリスクやリスク回避について理解する。</p> <p>灸の基本実技</p> <p>1)灸の大きさ 半米粒大、米粒大の大きさの違いを理解して、統一した大きさを作ることができる。</p> <p>2)灸の種類 有痕灸、無痕灸の違いを理解して、状況に合わせて使用できる。</p> <p>3)点火 着火の方法、線香の持ち方、灰の処理方法などを理解する。 竹の上などで、練習をおこない安全に点火する方法を学習する。</p> <p>4)姿勢 正しい姿勢を身につけることより、技術の習得を向上させる。</p>				<p>艾 線香 灰皿 ライター</p> <p>手ぬぐい 実技バックー式</p> <p>竹 練習用紙</p>
成績評価	科目評価試験、授業態度（出席状況含む）、授業中の確認試験（小テスト等）、提出物などの総合評価とし、学校の定める試験評価に準ずる。			
教科書・副読本	はりきゅう実技 はりきゅう理論			
受講上の注意	A4ノートを毎回持参する。実技室の使用ルールは厳守。 基本白衣着用(授業内容によって、白衣以外の準備が必要になります) 必要のない私語は控え、他人の迷惑になる行為は禁止。			

## 令和 2 年度 講義計画書

担当講師：豊 久美	実務経験 (有)・無	治療院勤務		
科目名・対象学科	総合実技 I			鍼灸師科
配当年次・単位数(単位時間) ・実施学期・講義形式	1年	1単位(40)	前期	実技
一般目標(GIO)				
<p>経絡経穴で学習した経穴を実際にと穴し理解する。          経絡の走行上の筋肉等の触診、患者への愛護的対応なども理解する。</p>				
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード				
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等				学習のキーワード
<p>人体の構造を解剖学的に理解する</p> <p>1) 解剖学的肢位・方向・解剖学的用語・体表指標等について理解できる</p> <p>2) 骨度法・同身寸法について理解し、実践できる</p> <p>経絡・経穴を実際に触れて確認する</p> <p>1) 体表指標・骨度法等を用いて取穴を行える</p> <p>2) 督脈・任脈・手太陰肺経・手陽明大腸経・足陽明胃経・足太陰脾経に、 属する経穴の取穴を行える</p>				<p>解剖学的肢位、内方、外方          上方、下方、近位、遠位          内縁、外縁、橈側、尺側          骨度法、同身寸法          十四経脈、経穴</p>
成績評価	科目評価試験、授業態度（出席状況含む）、授業中の確認試験（小テスト等）、提出物などの総合評価とし、学校の定める試験評価に準ずる。			
教科書・副読本	東洋療法学校協会編 「経絡経穴概論」			
受講上の注意	全出席を原則とし、出席が5分の4に満たない者は期末試験の受験資格を失う。 授業内容によってはハーフパンツを着用する。 授業中はやるべきことの認識をし、目的外の行動をしないこと。 実技室の使用上のルールを厳守し、守れなかった場合退席させ欠席とする。			

## 令和 2 年度 講義計画書

担当講師:武井 航	実務経験 (有)・無	鍼灸院勤務、接骨院勤務		
科目名・対象学科	解剖学Ⅲ			鍼灸師科
配当年次・単位数(単位時間)・実施学期・講義形式	1年	2単位(30)	前期	講義
一般目標(GIO)				
解剖学の循環器系の学習を通じて、人体を構成する血管系、リンパ系、心臓などの理解を深める。				
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード				
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等				学習のキーワード
<p>第1章 人体の構成</p> <p>1、細胞</p> <p>2、組織(結合組織)</p> <p>3、人体の方向と区分</p> <p>第2章 循環器系</p> <p>1、血管系</p> <p>2、心臓</p> <p>3、動脈系</p> <p>4、静脈系</p> <p>5、胎児循環</p> <p>6、リンパ系</p> <p>第10章 運動器系</p> <p>Ⅲ. 体幹-4、体幹の脈管</p> <p>Ⅳ. 上肢-4、上肢の脈管</p> <p>Ⅴ. 下肢-4、下肢の脈管</p> <p>Ⅵ. 頭頸部-3、頭頸部の脈管</p>				<p>細胞小器官</p> <p>血液とリンパ</p> <p>循環の概要</p> <p>刺激伝導系</p> <p>大動脈とその枝</p> <p>大静脈</p> <p>胎児循環の経路</p> <p>リンパ系の器官</p> <p>大動脈</p> <p>動脈と皮静脈</p> <p>動脈と皮静脈</p> <p>頭部へ行く脈管</p>
成績評価	科目評価試験、授業態度(出席状況含む)、授業中の確認試験(小テスト等)、提出物などの総合評価とし、学校の定める試験評価に準ずる。			
教科書・副読本	『解剖学<第2版>』(医師薬出版株式会社)			
受講上の注意	全講義数の2/3以上の出席に満たないと定期試験の受験資格を失う。			

## 令和 2 年度 講義計画書

担当講師：小林 康孝	実務経験 有(無)	医学部 生理学研究室 (医学博士)		
科目名・対象学科	健康科学			鍼灸師科
配当年次・単位数(単位時間)・実施学期・講義形式	1年	2単位(30)	前期	講義
一般目標(GIO)				
生命維持の必須機能に恒常性維持があり、生理学の中心課題になる。加えて、生体の持つ特徴に生体適応が挙げられる。それは、適切な生体刺激による機能の向上として捉えられる。この「健康科学」では、体力の維持・増進ならびに健康づくりに必要なスポーツ(医)科学の基礎と応用について学ぶ。				
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード				
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等				学習のキーワード
健康科学における次の概要を整理・理解する。 1) 健康づくり運動 の概要を説明できる。 2) 運動性貧血 の概要を説明できる。 3) スポーツ心臓 の概要を説明できる。 4) 呼吸系への運動効果 の概要を説明できる。 5) 筋グリコーゲン増量法 の概要を説明できる。 6) 運動強度の把握法 の概要を説明できる。 7) 運動量の把握法 の概要を説明できる。 8) 運動時の腎機能 の概要を説明できる。 9) 暑熱下の運動 の概要を説明できる。 10) 運動時の内分泌調節 の概要を説明できる。 11) 運動性無月経 の概要を説明できる。 12) 骨への運動効果 の概要を説明できる。 13) 筋への運動効果 の概要を説明できる。 14) 運動調節 の概要を説明できる。 15) 運動の習熟 の概要を説明できる。				健康日本21、ルーの3原則 献血、高地トレーニング 血圧変動、心拍出量 換気量、肺でのガス交換 消化・吸収、BMI 酸素摂取量、METS エネルギー平衡、歩・走運動 体液浸透圧、体液量 体熱平衡、暑熱順化 ストレス応答、副腎 性周期、卵胞ホルモン 骨形成、骨吸収 遅筋、速筋 随意運動、不随意運動 前庭動眼反射、筋紡錘
成績評価	科目評価試験、授業態度(出席状況含む)、授業中の確認試験(小テスト等)、提出物などの総合評価とし、学校の定める試験評価に準ずる。			
教科書・副読本	教科書は、特に用いない。指定教科書「生理学」「解剖学」が参考書になる。			
受講上の注意	講義内容を板書するので、受講者は聴いて・見て・書いての作業を繰り返して科学的法則性を整理・理解する。したがって、[出席]はノート提示を必要条件とする。			

## 令和 2 年度 講義計画書

担当講師:正木 基之	実務経験 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	鍼灸治療院勤務		
科目名・対象学科	東洋医学概論 I			鍼灸師科
配当年次・単位数(単位時間)・実施学期・講義形式	1年	2単位(30)	前期	講義
一般目標(GIO)				
東洋医学の基礎を理解し、鍼灸を行う上での基礎知識を身に付ける。				
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード				
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等				学習のキーワード
<p>東洋医学の基礎を理解する。</p> <p>1) 東洋医学における人体の成り立ちについて理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・天人合一思想、陰陽学説、五行学説について理解できる。</li> </ul> <p>2) 東洋医学の基礎理論について理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生体物質、蔵象、神の生理について理解し、それぞれの役割を説明できる。</li> </ul>				<p>天人合一思想</p> <p>互根、制約、消長、転化</p> <p>可分、相生、相克、相乗</p> <p>相侮、気、血、津液、精</p> <p>五臓、六腑、奇恒の腑</p>
成績評価	科目評価試験、授業態度(出席状況含む)、授業中の確認試験(小テスト等)、提出物などの総合評価とし、学校の定める試験評価に準ずる。			
教科書・副読本	東洋療法学校協会編「新版 東洋医学概論」			
受講上の注意	全出席を前提とし授業内容をよく聴講すること。 資料配布があるので資料管理を適切に行うこと。			

## 令和 2 年度 講義計画書

担当講師：金 世野	実務経験 (有)・無	治療院勤務		
科目名・対象学科	解剖学 I			鍼灸師科
配当年次・単位数(単位時間)・実施学期・講義形式	1年	2単位(30)	前期	講義
一般目標(GIO)				
運動器系の基礎となる骨を立体的に理解し、関節構造や運動学の基礎を学ぶ				
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード				
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等				学習のキーワード
<p>第10章 運動器系 II. 全身の骨格</p> <p>1. 脊柱の構造 椎骨の基本構造及び機能を理解する。</p> <p>    頸椎、胸椎、腰椎、仙椎、尾椎、各椎骨の構造と機能の違いを理解する。</p> <p>2. 胸郭 胸郭を構成する骨と軟部組織を理解する。</p> <p>    肋骨と肋軟骨の構造、胸郭の運動と全体像を把握する。</p> <p>3. 上肢の骨格 上肢の構成する骨と軟部組織を理解する。</p> <p>    鎖骨、肩甲骨、上腕骨、橈骨、尺骨、手の骨、各骨の構造と関節を理解する。</p> <p>4. 下肢の骨格 下肢の構成する骨と軟部組織を理解する。</p> <p>    寛骨、大腿骨、膝蓋骨、脛骨、腓骨、足の骨、各骨の構造と関節を理解する。</p> <p>5. 頭蓋骨 頭蓋骨の全体像と各骨を理解する。</p> <p>    前頭骨、頭頂骨、後頭骨、側頭骨、蝶形骨、上顎骨、下顎骨、頬骨、涙骨、篩骨、鋤骨、口蓋骨、各骨の構造と関節、それらに付随する孔や管を理解する。</p>				<p>顎、結節、稜、頭、頸、切痕、棘、粗面</p> <p>椎骨、胸郭、鎖骨、肩甲骨、上腕骨、橈骨、尺骨、手の骨</p> <p>寛骨、大腿骨、膝蓋骨、脛骨、腓骨、足の骨</p>
成績評価	科目評価試験、授業態度（出席状況含む）、授業中の確認試験（小テスト等）、提出物などの総合評価とし、学校の定める試験評価に準ずる。			
教科書・副読本	指定教科書「解剖学」、イラスト解剖学（中外医学社）、トートラ人体の構造と機能（丸善出版）人体の正常構造と機能（日本医事新報社）、病気が見えるvol. 11 運動器・整形外科（メディックメディア）			
受講上の注意	全出席することを原則とする、また疑問点を放置せず、調べたり質問したりして必ず自己解決すること。			

## 令和 2 年度 講義計画書

担当講師:オムニバス	実務経験 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	鍼灸院勤務		
科目名・対象学科	総合領域1			鍼灸師科
配当年次・単位数(単位時間)・実施学期・講義形式	1年	6単位(180)	通年	演習
一般目標(GIO)				
鍼灸師となるために必要な西洋医学、東洋医学の知識を幅広く学習し理解する。				
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード				
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等			学習のキーワード	
<p>・専門基礎分野における人体の構造と機能を学習のベースとし、          疾病の成り立ちからその予防および回復の促進についてを理解し、          同時に保健医療福祉の分野における鍼灸の理念を法規的側面からとらえ、          専門的分野として鍼灸師にとって必要となる東西医療の知識を総合的かつ          包括的に学習することで、基礎から応用に至るまでの鍼灸医療に必要とされる          知識と技術を修得する。</p>			解剖学 生理学 東洋医学概論 経絡経穴概論 基礎実技 ノートの活用法 ビデオ学習 西洋医学 東洋医学	
成績評価	各講義担当による科目評価試験、授業態度（出席状況含む）、授業中の確認試験（小テスト等）、提出物などの総合評価とし学校の定める試験評価に準ずる。			
教科書・副読本	上記範囲の教科書等（配布物含む）			
受講上の注意	全講義（模試等も含む）の講義時間数に対する2/3以上を出席すること。			

## 令和 2 年度 講義計画書

担当講師：小林 康孝	実務経験 有(無)	医学部 生理学研究室 (医学博士)		
科目名・対象学科	からだの働き I			鍼灸師科
配当年次・単位数(単位時間)・実施学期・講義形式	1年	2単位(30)	前期	講義
一般目標(GIO)				
からだの仕組み(構造)についての学問が解剖学であり、からだの働き(機能)についての学問を生理学という。この構造と機能は同時に学ぶことで、人体理解が一層容易となる。ここでは、植物性機能を担う循環系、呼吸系、消化・吸収系の働きに関する基礎的知識を整理・構築し、生命現象の機序(メカニズム)を学ぶ。				
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード				
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等				学習のキーワード
1. 血液 の概要を整理・理解する。 1) 血液のガス運搬機構 の概要を説明できる。 2) 血液の生体防御機構 の概要を説明できる。 3) 血液凝固機構 の概要を説明できる。 2. 循環系 の概要を整理・理解する。 1) 心臓の自動性 の概要を説明できる。 2) 心周期 の概要を説明できる。 3) 体循環 の概要を説明できる。 4) 循環調節機構 の概要を説明できる。 3. 呼吸系 の概要を整理・理解する。 1) 肺機能 の概要を説明できる。 2) 肺胞でのガス交換機構 の概要を説明できる。 3) 呼吸運動機構 の概要を説明できる。 4) 呼吸調節 の概要を説明できる。 4. 消化・吸収系 の概要を整理・理解する。 1) 消化機構 の概要を説明できる。 2) 吸収機構 の概要を説明できる。 3) 肝機能 の概要を説明できる。 4) 排便反射 の概要を説明できる。				赤血球、ヘモグロビン 食作用、免疫作用 血小板、カルシウムイオン 興奮伝導系、活動電位 心室収縮期、心室弛緩期 血圧、微細循環 圧受容器、化学受容器 肺活量、1秒率 拡散、肺胞気 呼吸中枢、呼吸筋 化学受容器、神経性調節 機械的消化、化学的消化 小腸での膜消化、能動輸送 代謝、肝機能検査 排便中枢、胃結腸反射
成績評価	科目評価試験、授業態度(出席状況含む)、授業中の確認試験(小テスト等)、提出物などの総合評価とし、学校の定める試験評価に準ずる。			
教科書・副読本	指定教科書：生理学(東洋療法学校協会、医歯薬出版)			
受講上の注意	講義内容を板書するので、受講者は聴いて・見て・書いての作業を繰り返して科学的法則性を整理・理解する。したがって、[出席]はノート提示を必要条件とする。			



## 令和 2 年度 講義計画書

担当講師:星野 祐一	実務経験 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	はりきゅうマッサージ治療院開業		
科目名・対象学科	経絡経穴概論 I			鍼灸師科
配当年次・単位数(単位時間) ・実施学期・講義形式	1年	2単位(30)	前期	講義
一般目標(GIO)				
鍼灸師に必要な経絡経穴を理解し、臨床に向けて大切な基礎知識を学習する。				
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード				
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等			学習のキーワード	
<p>経絡経穴の概要を理解する。</p> <p>①経絡経穴の誕生と臓腑との関係、概要を説明できる。</p> <p>経絡経穴の誕生 臓腑との関係 経絡の流注や種類 経穴の種類、寸法、要穴、禁鍼穴禁灸穴を理解できる。</p> <p>②経絡経穴に必要な解剖学的用語、体表指標、体表区分を説明できる。</p> <p>取穴の際に必要な解剖学的肢位、方向に関する用語、 体表指標、体表区分を理解できる。</p> <p>③十四経脈と各経絡の経穴名、取穴部位・取り方、要穴、流注を説明できる。</p> <p>督脈、任脈の流注、経穴名、取穴部位・取り方、要穴を理解できる。</p> <p>手の太陰肺経の流注、経穴名、取穴部位・取り方、要穴を理解できる。</p> <p>手の陽明大腸経の流注、経穴名、取穴部位・取り方、要穴を理解できる。</p> <p>足の陽明胃経の流注、経穴名、取穴部位・取り方、要穴を理解できる。</p> <p>足の太陰脾経の流注、経穴名、取穴部位・取り方、要穴を理解できる。</p> <p>手の少陰心経の流注、経穴名、取穴部位・取り方、要穴を理解できる。</p> <p>手の太陽小腸経流注、経穴名、取穴部位・取り方、要穴を理解できる。</p>			<p>経絡 経穴 経脈 絡脈</p> <p>臓腑 骨度法 同身寸法</p> <p>五要穴(原郄絡募兪穴)</p> <p>五行穴(井榮兪經合穴)</p> <p>四総穴 八会穴 八脈交会穴</p> <p>下合穴 禁鍼穴 禁灸穴</p> <p>解剖学的肢位</p> <p>体表指標・区分</p> <p>督脈・任脈</p> <p>手の太陰肺経</p> <p>手の陽明大腸経</p> <p>足の陽明胃経</p> <p>足の太陰脾経</p> <p>手の少陰心経</p> <p>手の太陽小腸経</p>	
成績評価	科目評価試験、授業態度(出席状況含む)、授業中の確認試験(小テスト等)、提出物などの総合評価とし、学校の定める試験評価に準ずる。			
教科書・副読本	指定教科書「新版 経絡経穴概論」			
受講上の注意	全出席と原則とする。			

## 令和 2 年度 講義計画書

担当講師：小口岳史	実務経験 (有) 無	大学医学部・歯学部解剖学研究室 (医学博士)		
科目名・対象学科	からだの仕組み I			鍼灸師科
配当年次・単位数(単位時間)・実施学期・講義形式	1年	2単位(30)	前期	講義
一般目標(GIO)				
内臓系について、正常な構造を学び、臨床的な応用ができるように理解する。				
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード				
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等				学習のキーワード
<p>内臓系総論について理解する</p> <p>1) 内臓系総論・組織学・発生学について説明できる</p> <p>内臓系各論について理解する</p> <p>1) 呼吸器系について説明できる</p> <p>2) 消化器系について説明できる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消化管の構造の詳細について図示し説明できる</li> <li>・消化腺の構造の詳細について図示し説明できる</li> </ul> <p>3) 泌尿器系について説明できる</p> <p>4) 生殖器系について説明できる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男性生殖器について図示し説明できる</li> <li>・女性生殖器について図示し説明できる</li> </ul> <p>5) 内分泌系について説明できる</p>				<p>基本構造・上皮の種類</p> <p>鼻腔・喉頭・気管・肺</p> <p>口腔・咽頭・食道・胃・小腸・大腸</p> <p>唾液腺・肝臓・膵臓</p> <p>腎臓・尿管・膀胱・尿道</p> <p>精巣・精管・前立腺</p> <p>卵巣・子宮・性周期</p> <p>下垂体・松果体・甲状腺・</p> <p>上皮小体・副腎・膵臓・性腺</p>
成績評価	科目評価試験、授業態度（出席状況含む）、授業中の確認試験（小テスト等）、提出物などの総合評価とし、学校の定める試験評価に準ずる。			
教科書・副読本	指定教科書「解剖学」公益社団法人東洋療法学校協会			
受講上の注意	全出席することを原則とし、授業内容よく徴候してノートをしっかり取ること。また、疑問点を放置せず、調べたり質問したりして必ず自己解決すること。			

## 令和 2 年度 講義計画書

担当講師:大野 亜二茂	実務経験 (有)・無	治療院勤務		
科目名・対象学科	基礎実技 I			鍼灸師科
配当年次・単位数(単位時間)・実施学期・講義形式	1年	1単位(40)	前期	実技
一般目標(GIO)				
実技室の使い方や各種消毒方法、鍼の知識や操作法など、鍼術の基礎を修得する。				
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード				
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等				学習のキーワード
1) 実技室の使い方を理解できる ・手洗い場、ワゴンの使用方法などルールに従って実技室を使用できる 2) 各種消毒法を理解できる ・手指消毒、患部消毒を適切に行える 3) 鍼・鍼管の種類や各種刺法、挿管法について理解できる 4) 片手挿管を適切に操作できる 5) 刺入動作を適切に行える ・押手、刺手、前揉捻、後揉捻、旋撚術、弾入切皮、抜鍼などを対物、対人に危険なく行える				ラビング法、スワブ法 番手、銀鍼、ステンレス鍼 片手挿管、旋撚術 送り込み刺法、押手、刺手 前揉捻、後揉捻、弾入切皮 抜鍼
成績評価	科目評価試験、授業態度（出席状況含む）、授業中の確認試験（小テスト等）、提出物などの総合評価とし、学校の定める試験評価に準ずる。			
教科書・副読本	東洋療法学校協会編 はりきゅう実技〈基礎編〉			
受講上の注意	全出席を原則とし、出席が5分の4に満たない者は期末試験の受験資格を失う。授業中はやるべきことの認識をし、目的外の行動をしないこと。実技室の使用上のルールは厳守し、守れなかった場合は退席させ欠席扱いとする。			

## 令和 2 年度 講義計画書

担当講師:オムニバス	実務経験 (有) 無	鍼灸院勤務		
科目名・対象学科	総合領域Ⅱ			鍼灸師科
配当年次・単位数(単位時間) 実施学期・講義形式	2年	6単位(180)	通年	演習
一般目標(GIO)				
鍼灸師となるために必要な西洋医学、東洋医学の知識を幅広く学習し、理解する。				
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード				
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等			学習のキーワード	
<p>専門基礎分野における人体の構造と機能を学習のベースとし、            疾病の成り立ちからその予防および回復の促進についてを理解し、            同時に保健医療福祉の分野における鍼灸の理念を法規的側面からとらえ、            専門的分野として鍼灸師にとって必要となる東西医療の知識を総合的かつ            包括的に学習することで、基礎から応用に至るまでの鍼灸医療に必要とされる            知識と技術を修得する。</p>			はりきゅう理論 衛生学・公衆衛生学 生理学 病理学 臨床医学総論 臨床医学各論 東洋医学臨床論 東洋医学概論 解剖学 経絡経穴概論	
成績評価	各講義担当による科目評価試験、授業態度（出席状況含む）、授業中の確認試験（小テスト等）、提出物などの総合評価とし学校の定める試験評価に準ずる。			
教科書・副読本	上記範囲の教科書等（配布物含む）			
受講上の注意	全講義（模試等も含む）の講義時間数に対する2/3以上を出席すること。			

## 令和 2 年度 講義計画書

担当講師:越川 善子	実務経験 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	治療院勤務		
科目名・対象学科	応用実技Ⅱ			鍼灸師科
配当年次・単位数(単位時間) 実施学期・講義形式	2年	1単位(40)	前期	実技
一般目標(GIO)				
整形外科疾患を中心に、それぞれの障害を鑑別するための徒手検査法を理解する。臨床の現場を想定し、患者の誘導をスムーズに行えるようにする。				
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード				
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等				学習のキーワード
1) 頸部の障害(頸椎性神経根症、頸椎椎間板ヘルニア)の原因や疾患を理解し、その鑑別に必要な各種検査法を理解・実施できる。				ジャクソン、スパークリング、肩押し下げ
2) 上肢の障害(胸郭出口症候群)の原因や疾患を理解し、その鑑別に必要な各種検査法を理解・実施できる。				アドソン、モーリー ライト、エデン
3) 肩関節の障害(肩関節周囲炎、上腕二頭筋長頭腱炎、腱板炎)の原因や疾患を理解し、その鑑別に必要な各種検査法を理解・実施できる。				ヤーガソン、スピード、 ストレッチ、ペインフルアーク、 ダウバーン
4) 腰部の障害(筋・筋膜性腰痛、椎間関節性腰痛、股関節疾患、仙腸関節疾患、腰椎椎間板ヘルニア、梨状筋症候群)の原因や疾患を理解し、その鑑別に必要な各種検査法を理解・実施できる。				SLR、FNS、K・ボンネット、 パトリック、ニュートン
5) 膝の障害(変形性膝関節症、半月板損傷、靭帯損傷)の原因や疾患を理解し、その鑑別に必要な各種検査法を理解・実施できる。				ラックマン、膝蓋跳動、 膝蓋骨圧迫、アプレー、 ステインマン、マックマレー
成績評価	科目評価試験、授業態度(出席状況含む)、授業中の確認試験(小テスト等)、提出物などの総合評価とし、学校の定める試験評価に準ずる。			
教科書・副読本	東洋医学臨床論(東洋療法学校協会編)			
受講上の注意	基本白衣着用(授業内容によって、白衣以外の準備が必要になります)5分の4以上の出席に達しない者は受験資格を失う。			

## 令和 2 年度 講義計画書

担当講師: 稲田久	実務経験 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	鍼灸治療院勤務		
科目名・対象学科	生理学 I		鍼灸師科	
配当年次・単位数(単位時間) 実施学期・講義形式	2年	2単位(30)	前期	講義
一般目標(GIO)				
・当該分野を理解し、その知識に基づいて生体におこる事象を予測し理由を推論出来るようになる。				
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード				
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等			学習のキーワード	
<p>・排泄 尿の生成の機序、酸塩基濃度と電解質の調節の機序とその意義</p> <p>・内分泌 ホルモンの種類と働き、分泌の調節</p> <p>・生殖／成長／老化 男性生殖器、女性生殖器 成長と老化</p>			<p>糸球体、ろ過、腎血漿流量 糸球体濾過量、尿管、蓄尿 排尿反射、下腹神経 骨盤神経、陰部神経</p> <p>階層的支配 負のフィードバック 視床下部 下垂体 甲状腺、副甲状腺 副腎髄質、副腎皮質 精巣、卵巣</p> <p>性反射、卵巣周期 月経周期(子宮内膜周期) 妊娠、分娩、乳汁分泌</p>	
成績評価	科目評価試験、授業態度(出席状況含む)、授業中の確認試験(小テスト等)、提出物などの総合評価とし、学校の定める試験評価に準ずる。			
教科書・副読本	生理学の教科書。			
受講上の注意	教科書持参。私語禁止。居眠り禁止。			

## 令和 2 年度 講義計画書

担当講師:武井 航	実務経験 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	鍼灸院勤務、接骨院勤務		
科目名・対象学科	生理学Ⅱ		鍼灸師科	
配当年次・単位数(単位時間) 実施学期・講義形式	2年	2単位(30)	前期	講義
一般目標(GIO)				
生理学の神経・感覚の学習を通じて、人体を構成する神経および感覚器の働きを理解する。				
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード				
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等			学習のキーワード	
第10章 神経 A. ニューロンの構造と働き B. 神経線維の興奮伝導 C. シナプス伝達 D. 中枢神経系の分類と機能 E. 脊髄 G. 脳幹 H. 小脳 I. 視床 J. 視床下部 K. 大脳 M. 末梢神経系 N. 自律神経系  第13章 感覚 A. 感覚の分類と一般的性質 B. 体性感覚 C. 内臓感覚 D. 痛覚 E. 味覚と嗅覚 F. 聴覚 G. 平衡感覚 H. 視覚			細胞体、軸索 静止電位、活動電位 興奮の伝達 脳と脊髄 伝導路 本能行動 高次脳機能 脳室 脳神経と脊髄神経 交感神経、副交感神経  感覚の分類 皮膚感覚、深部感覚 痛みの分類 味蕾、嗅上皮 内耳の機能 眼球	
成績評価	科目評価試験、授業態度(出席状況含む)、授業中の確認試験(小テスト等)、提出物などの総合評価とし、学校の定める試験評価に準ずる。			
教科書・副読本	『生理学<第3版>』(医師薬出版株式会社)			
受講上の注意	全講義数の2/3以上の出席に満たないと定期試験の受験資格を失う。			

## 令和 2 年度 講義計画書

担当講師:金 世野	実務経験 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	治療院勤務		
科目名・対象学科	応用実技 I			鍼灸師科
配当年次・単位数(単位時間) 実施学期・講義形式	2年	1単位(20)	前期	実技
一般目標(GIO)				
鍼通電療法、鍼低周波治療器を理解するために電気の基本的な知識を身につけるとともに鍼低周波治療器の使い方を身につける。さらに筋の起始、停止、作用を視覚的に確認し、解剖学運動器系の知識をより深めるとともに実技の危険部位や危険深度の理解および基礎実技の復習と鍼通電療法のリスク管理を深める。				
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード				
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等				学習のキーワード
<p>1. 下肢の筋への鍼通電療法を行う。</p> <p>下腿、大腿部の前面、後面の筋 筋の起始停止、支配神経、作用の理解度を深める。</p> <p>2. 上肢の筋への鍼通電療法を行う。</p> <p>上腕、前腕、の前面、後面の筋 筋の起始停止、支配神経、作用の理解度を深める。</p> <p>3. 体幹の筋(背部)への鍼通電療法を行う。</p> <p>腰部、臀部の筋 筋の起始停止、支配神経、作用の理解度を深める。</p> <p>4. 体幹の筋(肩甲周囲部)への鍼通電療法を行う。</p> <p>肩甲間部、肩甲上部の筋 筋の起始停止、支配神経、作用の理解度を深める。</p> <p>危険部位、危険深度を視覚的に理解する。</p>				<p>起始、停止、支配神経、作用</p> <p>ランドマーク、気胸</p>
成績評価	科目評価試験、授業態度(出席状況含む)、授業中の確認試験(小テスト等)、提出物などの総合評価とし、学校の定める試験評価に準ずる。			
教科書・副読本	指定教科書「解剖学」、イラスト解剖学(中外医学社)、トートラ人体の構造と機能(丸善出版)人体の正常構造と機能(日本医事新報社)、鍼通電療法テクニック(医道の日本社)			
受講上の注意	全出席することを原則とする。また疑問点を放置せず、調べたり質問したりして必ず自己解決すること。			



## 令和 2 年度 講義計画書

担当講師:豊 久美	実務経験 (有)無	あはき師、接骨院勤務、病院(整形外科)勤務		
科目名・対象学科	東洋医学臨床 I		鍼灸師科	
配当年次・単位数(単位時間) 実施学期・講義形式	2年	2単位(30)	前期	講義
一般目標(GIO)				
整形外科的疾患について、その症候や疾患に対する現代医学的な考え方・東洋医学的考え方の診かた・考え方を理解し、両医学の診断のプロセス、それぞれの医学理論に基づく治療原則・治療計画・治療法を学習する。				
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード				
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等			学習のキーワード	
<p>整形外科的疾患を実際に身近に起こる事象などに照らし合わせながら学ぶ。</p> <p>1) 治療総論 現代医学的な観点、東洋医学的な観点から疾病を見つめる。 ① 現代医学的治療原則・治療計画・予後の判定などを学ぶ。 ② 整形外科疾患についても東洋医学的観点から見直す。</p> <p>2) 上肢の疾患、腰下肢の疾患などの主要症候について学び、現代医学・東洋医学双方の観点からとらえることができる。 ① 上肢の疾患 ② 腰下肢の疾患 ③ スポーツ医学における鍼灸療法</p>			<p>適応・注意を要するもの</p> <p>東洋医学的な考え方</p> <p>現代医学的な考え方</p> <p>治療方針</p> <p>配穴法</p> <p>経穴</p>	
成績評価	科目評価試験、授業態度(出席状況含む)、授業中の確認試験(小テスト等)、提出物などの総合評価とし、学校の定める試験評価に準ずる。			
教科書・副読本	東洋医学臨床論(医道の日本社) 東洋医学概論、経絡経穴概論等			
受講上の注意	全出席することを原則とし、授業の内容をよく聴講してノートをしっかり取ること。また、疑問点を放置せず、調べたり質問したりして必ず自己解決すること。1/3の欠席で受験資格を喪失する。			

## 令和 2 年度 講義計画書

担当講師:大野 重二茂	実務経験 (有) 無	治療院勤務		
科目名・対象学科	臨床医学総論 I			鍼灸師科
配当年次・単位数(単位時間) 実施学期・講義形式	2年	2単位(30)	前期	講義
一般目標(GIO)				
現代医学的診察法に関する知識を学習する。				
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード				
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等				学習のキーワード
1) 診察の概要 2) 予後について 3) 診察の順序 4) 診察の方法 5) 視診、触診、打診、聴診 6) 生命徴候について 7) 顔貌、顔色 8) 精神状態 9) 言語 10) 身体計測 11) 体型、体格 12) 姿勢と体位 13) 歩行 14) 皮膚、粘膜の変化 15) その他の一般的状態				診察の意義 予後、転帰、自覚症状 医療面接、身体診察 主訴、現病歴、既往歴 清音、鼓音、濁音 体温、脈拍、血圧、呼吸 ヒポクラテス顔貌、仮面様顔貌 日本昏睡尺度(JCS) 構音障害、失語症 四肢の長さと同径 巨人症、低身長症 マンウェルニッケ肢位 異常歩行 蒼白、チアノーゼ 食欲、睡眠
成績評価	科目評価試験、授業態度(出席状況含む)、授業中の確認試験(小テスト等)、提出物などの総合評価とし、学校の定める試験評価に準ずる。			
教科書・副読本	臨床医学総論 東洋医学療法学校協会			
受講上の注意	欠席数が超過したものは受験資格を失う。			

## 令和 2 年度 講義計画書

担当講師:大野 重二茂	実務経験 (有)・無	治療院勤務		
科目名・対象学科	生体観察			鍼灸師科
配当年次・単位数(単位時間) 実施学期・講義形式	2年	2単位(40)	前期	演習
一般目標(GIO)				
臨床現場で患者の症状を把握し、治療計画を立てる上で必要となる検査や治療技術を修得する。				
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード				
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等				学習のキーワード
1) 脳神経の診察 2) 脳神経麻痺に対しての鍼灸治療 3) 血圧の測定 4) 鍼灸施術に対しての血圧の変動 5) 画像診断について				輻輳反射、眼球運動検査 顔面運動検査 リンネ試験、ウェーバー試験 三叉神経痛に対する治療 顔面神経麻痺に対する治療 触診法、聴診法 体幹刺激による血圧の変動 末端刺激による血圧の変動 レントゲン、CT、MRI
成績評価	科目評価試験、授業態度(出席状況含む)、授業中の確認試験(小テスト等)、提出物などの総合評価とし、学校の定める試験評価に準ずる。			
教科書・副読本	配布プリント			
受講上の注意	欠席数が超過したものは受験資格を失う。			

## 令和 2 年度 講義計画書

担当講師:北村 菜	実務経験 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	治療院勤務		
科目名・対象学科	東洋医学概論Ⅲ			鍼灸師科
配当年次・単位数(単位時間) 実施学期・講義形式	2年	2単位(30)	前期	講義
一般目標(GIO)				
東洋医学の基礎・応用を理解し、東洋医学臨床論へつながる知識を身に付ける。				
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード				
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等				学習のキーワード
<p>東洋医学の基礎を理解する</p> <p>1) 東洋医学的診察の基礎を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・四診(望診・聞診・問診・切診)の概要と分類について理解できる</li> </ul> <p>2) 東洋医学的治法を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各治療法の原則と概要を理解できる</li> <li>・各病証に対する治法を理解できる</li> </ul> <p>東洋医学の応用を理解する。</p> <p>1) 証の立て方について理解できる</p> <p>2) 古代刺法の分類と適応について理解できる</p>				<p>舌診、声診、気味、十問歌</p> <p>主訴、増悪、緩解、寒熱、汗</p> <p>二便、飲食、睡眠、情志</p> <p>疼痛、月経、既往歴</p> <p>脈診、腹診、切経、経穴診</p> <p>四診合参</p> <p>難経六十九難、補虚瀉実</p> <p>補法、瀉法</p> <p>三刺、五刺、九刺、十二刺</p>
成績評価	科目評価試験、授業態度(出席状況含む)、授業中の確認試験(小テスト等)、提出物などの総合評価とし、学校の定める試験評価に準ずる。			
教科書・副読本	東洋療法学校協会編「新版 東洋医学概論」			
受講上の注意	全出席を前提とし授業内容をよく聴講すること。 資料配布があるので資料管理を適切に行うこと。			

## 令和 2 年度 講義計画書

担当講師:星野 祐一	実務経験 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	はりきゅうマッサージ治療院開業		
科目名・対象学科	応用実技Ⅲ		鍼灸師科	
配当年次・単位数(単位時間) 実施学期・講義形式	2年	1単位(40)	前期	実技
一般目標(GIO)				
鍼灸の実技をおこなう上での姿勢や基本を学習し、状況に合わせた判断ができる。 臨床に必要な知識を学習して、安全かつ正確に施術をおこなえる。				
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード				
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等			学習のキーワード	
<p>各種類の鍼を使用して、適切な方向と刺入深度をコントロールできる。</p> <p>触診をおこなうことで、筋肉と経穴の位置関係を理解することができる。</p> <p>指定された経穴へ患者に対してのリスクも配慮し、安全に施術ができる。</p> <p>1)上肢帯、上腕、前腕の筋肉と経穴の位置関係を理解して刺入や施術ができる。</p> <p>2)下肢帯、大腿、下腿の筋肉と経穴の位置関係を理解して刺入や施術ができる。</p> <p>3)体幹部の筋肉と経穴の位置関係を理解して刺入や施術ができる。</p> <p>4)頭頸部の筋肉と経穴の位置関係を理解して刺入や施術ができる。</p> <p>5)正しい姿勢を理解し、自分自身に対して負担のかからない施術ができることで患者への負担が軽減することを理解する。</p>			<p>銀鍼 ステンレス鍼 中国鍼</p> <p>艾 線香 ライター 灰皿</p> <p>手ぬぐい 実技バック</p>	
成績評価	科目評価試験、授業態度(出席状況含む)、授業中の確認試験(小テスト等)、提出物などの総合評価とし、学校の定める試験評価に準ずる。			
教科書・副読本	経絡経穴概論教科書 配布資料			
受講上の注意	A4ノートを毎回持参する。実技室の使用ルールは厳守。 授業内容によって、白衣以外の準備が必要である。 必要のない私語は控え、他人の迷惑になる行為は禁止。			

## 令和 2 年度 講義計画書

担当講師: 稲田久	実務経験 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	鍼灸治療院勤務		
科目名・対象学科	生理学Ⅲ		鍼灸師科	
配当年次・単位数(単位時間) 実施学期・講義形式	2年	2単位(30)	前期	講義
一般目標(GIO)				
・当該分野を理解し、その知識に基づいて生体におこる事象を予測し理由を推論出来るようになる。				
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード				
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等			学習のキーワード	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・筋 筋肉の一般 <ul style="list-style-type: none"> <li>骨格筋の構造</li> <li>筋の収縮</li> <li>筋の物理的性状</li> <li>心筋と平滑筋</li> </ul> </li> <li>・身体運動 <ul style="list-style-type: none"> <li>骨格筋の神経支配、運動調節、脊髄レベルでの運動調節</li> </ul> </li> <li>・生体防御 疾病に対する防御</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>横紋筋、随意筋、筋原線維</li> <li>T管、筋小胞体、白筋線維</li> <li>赤筋線維、I帯、A帯</li> <li>アクチンフィラメント</li> <li>ミオシンフィラメント</li> <li>等張性収縮、等尺性収縮</li> <li>単収縮、強縮、トーンス</li> <li>α 運動ニューロン</li> <li>γ 運動ニューロン</li> <li>錘内筋、錘外筋、伸張反射</li> <li>拮抗抑制、屈曲反射</li> <li>交叉性伸展反射</li> <li>長脊髓反射</li> <li>除脳固縮、錐体路</li> <li>錐体外路</li> <li>炎症</li> <li>細胞性免疫</li> <li>液性免疫</li> </ul>	
成績評価	科目評価試験、授業態度(出席状況含む)、授業中の確認試験(小テスト等)、提出物などの総合評価とし、学校の定める試験評価に準ずる。			
教科書・副読本	生理学の教科書。			
受講上の注意	教科書持参。私語禁止。居眠り禁止。			

## 令和 2 年度 講義計画書

担当講師: 稲田久	実務経験 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	鍼灸治療院勤務		
科目名・対象学科	東洋医学臨床論Ⅱ		鍼灸師科	
配当年次・単位数(単位時間) 実施学期・講義形式	2年	2単位(30)	前期	講義
一般目標(GIO)				
臨床上遭遇しやすい症候を東洋医学的観点で理解し、それぞれに適応した治療法を考えられる。				
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード				
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等			学習のキーワード	
<p>東洋医学的・現代医学的な治療方針を理解する。</p> <p>1) 東洋医学的・治療計画を理解できる。</p> <p>主要症候を東洋医学から考えることができる。</p> <p>1) 東洋医学的な考え方で症候を理解できる</p> <p>2) 各疾患について特徴・禁忌を理解した上で東洋・現代医学の治療法について理解できる</p>			<p>選穴、虚実寒熱、標本緩急 本治法、標治法、標本同治 四診法、配穴法 難経六十九難 適応となるもの、病態、症状 治療方針、処方例 東洋医学的な考え方 病証名、病因、機序 主症状、随伴症状、治法</p>	
成績評価	科目評価試験、授業態度(出席状況含む)、授業中の確認試験(小テスト等)、提出物などの総合評価とし、学校の定める試験評価に準ずる。			
教科書・副読本	東洋医学臨床論の教科書。			
受講上の注意	教科書持参。私語禁止。居眠り禁止。			

## 令和 2 年度 講義計画書

担当講師:豊 久美	実務経験 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	あはき師、接骨院勤務、病院(整形外科)勤務		
科目名・対象学科	適応診断		鍼灸師科	
配当年次・単位数(単位時間) 実施学期・講義形式	3年	2単位(30)	前期	講義
一般目標(GIO)				
鍼灸臨床に携わったときに遭遇する確率が高い疾患に関し、西洋医学または東洋医学的に判断し、鍼灸の適応か不適応かを鑑別できるようになる。				
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード				
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等			学習のキーワード	
<p>1.治療総論</p> <p>現代医学的治観点・東洋医学的観点より疾病感について学ぶ</p> <p>1)現代医学的治療原則・治療計画・予後の判定などを学ぶ</p> <p>2)整形外科疾患についても東洋医学的観点から見直す。</p> <p>2.治療各論</p> <p>東洋医学臨床論で学んだ主な疾患について、鑑別ができるようになる</p> <p>1)頭痛</p> <p>2)顔面痛～眼精疲労</p> <p>3)眩暈・耳鳴り・難聴</p> <p>4)脱毛症・歯痛</p> <p>5)咳嗽・胸痛</p> <p>6)腹痛～便秘、下痢</p> <p>7)月経異常・婦人科疾患</p> <p>8)排尿障害・ED</p> <p>9)血圧～のぼれ</p> <p>10)不眠～発疹</p>				
成績評価	科目評価試験、授業態度(出席状況含む)、授業中の確認試験(小テスト等)、提出物などの総合評価とし、学校の定める試験評価に準ずる。			
教科書・副読本	東洋医学臨床論、臨床医学各論など			
受講上の注意	全出席することを原則とし、授業内容よく聴講してノートをしっかり取ること。また、疑問点を放置せず、調べたり質問したりして必ず自己解決すること。1/3の欠席で受験資格を喪失する。			



## 令和 2 年度 講義計画書

担当講師: 芦野純夫	実務経験 (有) 無	あん摩マッサージ指圧師、鍼灸師普通教員		
科目名・対象学科	臨床実技IV		鍼灸師科	
配当年次・単位数(単位時間) 実施学期・講義形式	3年	1単位(40)	前期	実習
一般目標(GIO)				
通常の刺鍼に加えて行われる特殊な鍼法を習得する。				
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード				
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等			学習のキーワード	
皮内鍼法 灸頭鍼法 刺絡鍼法 皮膚鍼法 耳鍼法、良導絡療法			シーソー現象、真皮、疼痛閾値 虚寒証、輻射熱 陽実証、奇邪 小児鍼、2MC ノイロメーター	
成績評価	実技評価試験、授業態度（出欠の状況及び点呼時の態度を含む）、授業中の確認試験（小テスト等）などの総合評価とする。			
教科書・副読本	プリント教材を用いて行う。			
受講上の注意	出席を取る際は顔を上げてハッキリと返事する事。授業中の雑談を禁ずる。			

## 令和 2 年度 講義計画書

担当講師:藤村 響男	実務経験 有(無)	メディカルセンター病院研究部、医学部研究室(博士)		
科目名・対象学科	臨床医学各論 II			鍼灸師科
配当年次・単位数(単位時間) 実施学期・講義形式	3年	2単位(30)	前期	講義
一般目標(GIO)				
現代医学による各疾患の症状、診察法、検査法および治療法を学び、東洋医学的知識と統合して鍼灸施術を適切に行う能力を身につける。				
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード				
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等				学習のキーワード
<p>内分泌疾患について理解する。</p> <p>1) 内分泌総論・内分泌機構と役割を理解する。</p> <p>2) 視床下部・下垂体疾患が説明できる。</p> <p>3) 甲状腺疾患が説明できる。</p> <p>4) 副腎疾患が説明できる。</p> <p>神経疾患について理解する。</p> <p>5) 脳血管障害について理解する。</p> <p>6) 認知症・脳神経の異常を説明できる。</p> <p>7) 神経・筋の異常を説明できる。</p> <p>8) 筋疾患・末梢神経障害を説明できる。</p> <p>9) 機能性疾患・脳腫瘍・頭部外傷を説明できる。</p> <p>呼吸器疾患について理解する。</p> <p>10) 呼吸器総論・呼吸器の機能と役割を理解する</p> <p>11) 感染性呼吸器疾患を説明できる。</p> <p>12) 閉塞性呼吸器疾患を説明できる。</p> <p>13) その他の呼吸器疾患を説明できる。</p> <p>精神疾患、心療内科疾患について理解する。</p> <p>14) 小児科疾患・精神科疾患を説明できる。</p> <p>15) 心療内科分野の疾患を説明できる。</p>				<p>ホルモン</p> <p>巨人症、尿崩症</p> <p>バセドウ病、甲状腺機能低下</p> <p>副腎皮質疾患、髄質疾患</p> <p>脳卒中</p> <p>認知症の鑑別</p> <p>ALS、パーキンソン病</p> <p>筋ジストロフィー、MG、GBS</p> <p>頭痛の鑑別、血腫</p> <p>死腔、異物除去機構</p> <p>肺炎、結核、インフルエンザ</p> <p>COPD</p> <p>肺癌、気胸、過換気症候群</p> <p>双極性障害、統合失調症</p> <p>心身症、摂食障害</p>
成績評価	科目評価試験、授業態度(出席状況含む)、授業中の確認試験(小テスト等)、提出物などの総合評価とし、学校の定める試験評価に準ずる。			
教科書・副読本	臨床医学各論・visual note(ビジュアルノート:メディックメディア)			
受講上の注意	定期試験の受験資格は、授業への三分の二以上の出席			

## 令和 2 年度 講義計画書

担当講師:オムニバス	実務経験 (有)無	鍼灸治療院勤務		
科目名・対象学科	統合教育科目			鍼灸師科
配当年次・単位数(単位時間) 実施学期・講義形式	3年	4単位(120)	通年	演習
一般目標(GIO)				
鍼灸治療において鑑別が必要となる内科的疾患、整形外科的疾患などを学習し、適切な判断力を身につける。更に東洋医学的知識と結び付けられる幅広い医療人を育成する。				
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード				
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等				学習のキーワード
<p>第1章:感染症</p> <p>第5章:腎、泌尿器疾患</p> <p>第8章:整形外科疾患</p> <p>第9章:循環器疾患</p> <p>第10章:血液、造血器疾患</p> <p>第12章:リウマチ性疾患、膠原病</p> <p>・臨床医学各論の疾患と東洋医学臨床論の各疾患を比較し学習する。 西洋医学と東洋医学の違いを学習することで、1つの疾患を様々な方向から考察ができ、患者一人一人に合った治療ができる知識や実技を習得する。</p>				<p>細菌感染症、ウイルス感染症 性感染症</p> <p>原発性糸球体腎炎、腎不全 感染症、腫瘍性疾患</p> <p>結石症、前立腺疾患</p> <p>関節疾患、骨代謝性疾患 骨腫瘍、筋腱疾患、形態異常 脊椎疾患、脊髄損傷、外傷 その他の整形外科疾患</p> <p>心臓疾患、冠動脈疾患 動脈疾患、血圧異常</p> <p>赤血球疾患、白血球疾患 リンパ網内系疾患、出血性素因</p> <p>リウマチ性疾患、膠原病</p>
成績評価	各講義担当による科目評価試験、授業態度（出席状況含む）、授業中の確認試験（小テスト等）、提出物などの総合評価とし学校の定める試験評価に準ずる。			
教科書・副読本	臨床医学各論の教科書。			
受講上の注意	教科書持参。私語禁止。居眠り禁止。			

## 令和 2 年度 講義計画書

担当講師:安納弘道	実務経験 (有)・無	医学部研究室助手(医学博士)・大学講師		
科目名・対象学科	解剖学IV			鍼灸師科
配当年次・単位数(単位時間) 実施学期・講義形式	3年	2単位(30)	前期	講義
一般目標(GIO)				
「運動」を様々な角度から捉え、ヒトの正常な身体運動を科学的に研究できる基礎知識を習得することを目的とする。運動機能障害を評価するために必要な運動学に含まれる多領域・多項目の情報・知識を身につける。				
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード				
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等				学習のキーワード
(1)運動学の成り立ち・学問領域・運動表示について説明できる。 身体の運動を物理学・数学的法則に従い解析することができる。				運動の法則・力学的エネルギー てこの構造・力学的有利性
(2)運動器の構造と機能について説明できる。				骨・骨格筋・筋収縮様式
(3)神経の構造と機能について説明できる。 運動感覚とその関与因子を説明できる。				シナプス・錐体路・錐体外路 筋紡錘・腱器官・平衡感覚
(4)反射・随意運動の相違とその発生メカニズムについて説明できる。				反射弓・運動プログラム
(5)四肢と体幹の運動-1 上肢帯・肩関節・肘関節の運動				
(6)四肢と体幹の運動-2 手関節と手・股関節の運動				
(7)四肢と体幹の運動-3 膝関節・足関節と足部の運動				骨格・関節・関節の運動・関節の筋
(8)四肢と体幹の運動-4 体幹と脊柱・頸椎・胸椎の運動				
(9)四肢と体幹の運動-5 腰椎・仙椎・骨盤・顔面・頭部の運動				
(10)姿勢の分類・人体の重心・立位姿勢保持の筋・神経機構のメカニズム及び機能肢位について説明できる。				重心・立位姿勢・抗重力筋 機能肢位
(11)歩行のメカニズム・歩行の力学的分析・歩行の筋活動・異常歩行について説明できる。				歩行周期・床反力・足底圧
(12)運動発達における神経組織の成熟機構・反射・反応の発達・全身運動の発達について説明できる。				神経組織
(13)運動学習の特徴とその過程と機構について説明できる。				学習・動機づけ・学習
成績評価	科目評価試験、授業態度(出席状況含む)、授業中の確認試験(小テスト等)、提出物などの総合評価とし、学校の定める試験評価に準ずる。			
教科書・副読本	リハビリテーション医学<第4版>東洋療法学校協会編			
受講上の注意	全講義数の2/3以上の出席に満たないと定期試験の受験資格を失う。			


## 令和 2 年度 講義計画書

担当講師:オムニバス	実務経験 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	鍼灸院勤務		
科目名・対象学科	総合領域Ⅲ			鍼灸師科
配当年次・単位数(単位時間) 実施学期・講義形式	3年	5単位(150)	通年	演習
一般目標(GIO)				
鍼灸師となるために必要な西洋医学、東洋医学の知識を幅広く学習し、理解する。				
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード				
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等			学習のキーワード	
<p>専門基礎分野における人体の構造と機能を学習のベースとし、            疾病の成り立ちからその予防および回復の促進についてを理解し、            同時に保健医療福祉の分野における鍼灸の理念を法規的側面からとらえ、            専門的分野として鍼灸師にとって必要となる東西医療の知識を総合的かつ            包括的に学習することで、基礎から応用に至るまでの鍼灸医療に必要とされる            知識と技術を修得する。</p>			<p>医療概論(歴史範囲を除く)            関係法規            はりきゅう理論            衛生学・公衆衛生学            解剖学            生理学            病理学            臨床医学総論            臨床医学各論            リハビリテーション医学            東洋医学概論            経絡経穴概論            東洋医学臨床論</p>	
成績評価	後期に実施する定期試験および臨時試験(総合試験と呼称す)の結果を以って成績評価とする。			
教科書・副読本	上記範囲の教科書等(配布物含む)			
受講上の注意	全講義(模試等も含む)の講義時間数に対する2/3以上の出席に満たない場合、総合試験の受験資格を失う。			

## 令和 2 年度 講義計画書

担当講師:オムニバス	実務経験 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	治療院勤務		
科目名・対象学科	臨床実技Ⅱ			鍼灸師科
配当年次・単位数(単位時間) 実施学期・講義形式	3年	2単位(40)	前期	実技
一般目標(GIO)				
一つの疾患に対して、色々な方向からのアプローチ方法を学習することで、治療に対する柔軟性を身につけ、患者に合わせた治療を考えることができる。				
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード				
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等				学習のキーワード
<p><b>【講義内容】</b>            現代的鍼灸、経絡治療、中医学、パルス治療など鍼灸治療には数多くの考え方があります。その一つ一つを学習することは、将来臨床現場に出たときに役立てられると思います。この授業では、臨床に直結できる内容を中心におこない、鍼灸技術の修得を目指します。また、1年次、2年次におこなった基礎実技の振り返りもおこなうことで、基礎の向上も目指します。</p> <p><b>【到達目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・腹診や脈診を正しくおこなえる。</li> <li>・治療スタイルに合わせて治療中の立ち位置を考え、スムーズな治療をおこなえる</li> <li>・的確な刺入深度をコントロールできる。</li> <li>・お灸の熱さや艾炷の大きさをコントロールできる。</li> <li>・触診技術を学習し、刺鍼や施灸がおこなえる。</li> <li>・理学検査から疾患の原因を判断し、刺鍼や施灸がおこなえる。</li> </ul>				四診 腹診 脈診 舌診など 理学検査 補寫法 2点交互施灸 銀鍼 ステンレス鍼 長鍼 中国鍼 特殊鍼法など パルス
成績評価	科目評価試験、授業態度(出席状況含む)、授業中の確認試験(小テスト等)、提出物などの総合評価とし、学校の定める試験評価に準ずる。			
教科書・副読本	各種教科書と配布資料			
受講上の注意	単純な技術の模倣で終わらないよう、考えながら参加する事。 配布物は必ず読む事。			

## 令和 2 年度 講義計画書

担当講師:野澤 隆幸	実務経験  無	大学総合研究所研究員 鍼灸マッサージ治療院開業		
科目名・対象学科	医療概論			鍼灸師科
配当年次・単位数(単位時間) 実施学期・講義形式	3年	1単位(15)	前期	講義
一般目標(GIO)				
古来より人間と深いかかわりを持ってきた「病」に対する考え方(世界観)・歴史・治療・制度などについて学習することで、医療とは人間にとってどのような意味を持ってきたか、また医療従事者のとるべき態度はどのようなものかを考えていく。				
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード				
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等				学習のキーワード
<p>第1章 医学と医療の歴史</p> <p>西洋の医学と医療の歴史</p> <p>東洋の医学と医療の歴史</p> <p>日本の医学と医療の歴史</p> <p>第2章 現代の医学と医療</p> <p>現代医学の課題</p> <p>現代の医療</p> <p>第3章 医療従事者の倫理</p> <p>医療倫理</p> <p>施術者としての倫理</p>				<p>近代医学の方法</p> <p>医療保険制度、国民医療費</p> <p>ヒポクラテスの誓い</p> <p>患者の権利宣言</p> <p>インフォームド・コンセント</p>
成績評価	科目評価試験、授業態度(出席状況含む)、授業中の確認試験(小テスト等)、提出物などの総合評価とし、学校の定める試験評価に準ずる。			
教科書・副読本	医療概論(東洋療法学校協会編)、医療概論(東京点字出版所)			
受講上の注意	全講義の2/3以上の出席に満たない場合は定期試験の受験資格を失う。			

## 令和 2 年度 講義計画書

担当講師:野澤 隆幸	実務経験 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	大学総合研究所研究員 鍼灸マッサージ治療院開業		
科目名・対象学科	関係法規			鍼灸師科
配当年次・単位数(単位時間) 実施学期・講義形式	3年	1単位(15)	前期	講義
一般目標(GIO)				
はり師・きゅう師に関する法律を中心に、社会保険法、社会福祉法など業務に従事する上で理解しておくべき法令について学ぶ。臨床現場における法律事務について必要な知識を得る。				
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード				
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等				学習のキーワード
<p>第1章 あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師に関する法律</p> <p>法制度の沿革</p> <p>法制定の目的</p> <p>免許と試験</p> <p>業務</p> <p>学校、養成施設</p> <p>罰則</p> <p>第2章 関係法規</p> <p>法と実定法</p> <p>医療放棄と医療制度</p> <p>医療法</p> <p>医師法(歯科医師法)</p> <p>その他の医療従事者に関する法律</p> <p>薬事法規</p> <p>衛生関係法規</p> <p>社会福祉関係法規</p> <p>社会保険関係法規</p> <p>その他の関係法規</p>				<p>資格要件</p> <p>医業類似行為とはなにか</p> <p>両罰規定</p> <p>法の種類</p>
成績評価	科目評価試験、授業態度(出席状況含む)、授業中の確認試験(小テスト等)、提出物などの総合評価とし、学校の定める試験評価に準ずる。			
教科書・副読本	関係法規(医事法制研究所)、関係法規(東京点字出版所)			
受講上の注意	全講義の2/3以上の出席に満たない場合は定期試験の受験資格を失う。			



## 令和 2 年度 講義計画書

担当講師:豊 久美	実務経験 (有) 無	あはき師、接骨院勤務、病院(整形外科)勤務		
科目名・対象学科	臨床実習Ⅲ			鍼灸師科
配当年次・単位数(単位時間) 実施学期・講義形式	3年	1単位(45)	前期	講義
一般目標(GIO)				
鍼灸臨床に携わる者として、患者のもつ諸問題を考察しながら適切な患者・施術者関係を構築するとともに、自らの知識・技術を広く応用させ、鍼灸臨床を実践できる。また、鍼灸臨床を実践する中で自らの問題点に気付き、解決する姿勢を身に付ける。				
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード				
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等				学習のキーワード
臨床を行う上で必要となる一連の動きを理解し実践できるようになる。 1) 医療従事者としての姿勢を身に付ける。 ・身だしなみや物腰なども含む。 2) 良好な治療者－患者関係を構築することができる。 ・傾聴や共感、目線など、医療面接で学んだことを遂行できる。 3) 患者からの的確に情報収集することができる。 4) 患者が抱える問題点を抽出することができる。 5) 1)2)3)4)をふまえて治療計画を立案することができる。 ・四診合参、整形外科的検査などのすり合わせができる。 ・チームカンファレンスを円滑に行うことができる。 6) 鍼灸の基本手技を実践することができる。 7) 診療記録を作成することができる。 8) 医の倫理について認識し実践することができる。				
成績評価	全日程の出席と、毎時のレポートにて評価する。			
教科書・副読本	指定教科書「解剖学」、「生理学」、「臨床医学各論」、「臨床医学総論」、「東洋医学概論」、「東洋医学臨床論」、「経絡経穴概論」、「リハビリテーション医学」、「衛生学・公衆衛生学」etc			
受講上の注意	全日出席することが単位取得の要件であるため、いち治療家として立つことを意識し、自己管理を徹底する事。各自が担当施術者であるという気持ちで、真摯な態度且つ積極的に参加する事。			

## 令和 2 年度 講義計画書

担当講師:豊 久美	実務経験 (有) 無	あはき師、接骨院勤務、病院(整形外科)勤務		
科目名・対象学科	臨床実習Ⅳ			鍼灸師科
配当年次・単位数(単位時間) 実施学期・講義形式	3年	1単位(45)	前期	実技
一般目標(GIO)				
鍼灸臨床に携わる者として、患者のもつ諸問題を考察しながら適切な患者・施術者関係を構築するとともに、自らの知識・技術を広く応用させ、鍼灸臨床を実践できる。また、鍼灸臨床を実践する中で自らの問題点に気づき、解決する姿勢を身に付ける。				
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード				
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等				学習のキーワード
臨床を行う上で必要となる一連の動きを理解し実践できるようになる。 1) 医療従事者としての姿勢を身に付ける。 ・身だしなみや物腰なども含む。 2) 良好な治療者－患者関係を構築することができる。 ・傾聴や共感、目線など、医療面接で学んだことを遂行できる。 3) 患者からの的確に情報収集することができる。 4) 患者が抱える問題点を抽出することができる。 5) 1)2)3)4)をふまえて治療計画を立案することができる。 ・四診合参、整形外科的検査などのすり合わせができる。 ・チームカンファレンスを円滑に行うことができる。 6) 鍼灸の基本手技を実践することができる。 7) 診療記録を作成することができる。 8) 医の倫理について認識し実践することができる。				
成績評価	全日程の出席と、毎時のレポートにて評価する。			
教科書・副読本	指定教科書「解剖学」、「生理学」、「臨床医学各論」、「臨床医学総論」、「東洋医学概論」、「東洋医学臨床論」、「経絡経穴概論」、「リハビリテーション医学」、「衛生学・公衆衛生学」etc			
受講上の注意	全日出席することが単位取得の要件であるため、いち治療家として立つことを意識し、自己管理を徹底する事。各自が担当施術者であるという気持ちで、真摯な態度且つ積極的に参加する事。			

## 令和 2 年度 講義計画書

担当講師:武井 航	実務経験 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	鍼灸院勤務、接骨院勤務		
科目名・対象学科	リハビリテーション医学 I		鍼灸師科	
配当年次・単位数(単位時間) 実施学期・講義形式	3年	1単位(30)	前期	講義
一般目標(GIO)				
リハビリテーション医学の範囲のうち、リハビリテーション総説、各疾患のリハビリテーションの範囲について学習し、リハビリテーションについて理解する。				
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード				
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等			学習のキーワード	
第1章 リハビリテーション総説 A. リハビリテーションと障害 B. リハビリテーション医学と医療 C. 障害の評価 D. 医学的リハビリテーション  第2章 各疾患のリハビリテーション A. 脳卒中のリハビリテーション B. 脊髄損傷のリハビリテーション C. 切断のリハビリテーション D. 小児のリハビリテーション E. 骨関節疾患のリハビリテーション F. 関節リウマチのリハビリテーション G. 末梢神経障害のリハビリテーション H. パーキンソン病のリハビリテーション I. 呼吸器疾患のリハビリテーション J. 心疾患のリハビリテーション			リハビリの基本理念 リハビリ医学の概念 ADL、QOL 理学療法、作業療法  ブルンストローム法 損傷高位 義足、義手 脳性麻痺 体操療法 リウマチの診断基準 装具療法 ヤールの重症度分類 呼吸訓練 運動強度	
成績評価	科目評価試験、授業態度(出席状況含む)、授業中の確認試験(小テスト等)、提出物などの総合評価とし、学校の定める試験評価に準ずる。			
教科書・副読本	『リハビリテーション医学<第4版>』(医師薬出版株式会社)			
受講上の注意	全講義数の2/3以上の出席に満たないと定期試験の受験資格を失う。			